

手すり	ライフサイクル別のリスク低減策					
	設計	高齢者	介助者・施設・自宅	レンタル	買い換え・廃棄	環境・社会インフラ
設計	<ul style="list-style-type: none"> ・固定金具、支柱の強度確保（構造、金属材料） ・握りやすい構造、形状 ・握ったときに滑らない表面形状、材質 ・夜間見えやすいよう表面が光る材質、照明構造 ・触れる箇所のエッジ、バリのない構造（手すり部、支柱・固定部） ・挟み込みのない格子間の隙間の寸法 ・挟み込まないよう隙間を埋めるカバー 					
製造	<ul style="list-style-type: none"> ・固定金具、支柱の製造管理（材料異物混入、すが入る等ないように） 					
誤使用・不注意	<ul style="list-style-type: none"> ・介助者に読んでもらえるような取扱説明書づくり ・存在が一目で分かるよう認識しやすい色 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力、筋力アップのトレーニングを行う ・指導、教育関係の受講 ・濡れた手で手すりを持たない ・暗い場所の歩行を避ける、照明を点ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の導線を把握し必要な場所に設置する ・連続し途切れのないよう設置する ・トイレは着座位置にL字設置 横は便座の高さで立ち上がり時、縦は立った姿勢でのバランス確保時 ・足元の段差解消、足が引っかかりやすいカーペットやマットを敷かない ・足元が滑りにくいようにする ・隙間を埋めるクッションを設置 ・床クッション材 ・指導、教育関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・挟み込み防止器具をデフォルトで付ける ・注意喚起の強化 ・レンタル時に身体能力の確認強化 ・ユーザーへの使用環境の注意ポイントを含めた安全確保を徹底するよう必ず説明する ・安全講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・推奨使用年数を超えないための表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい表示や標識 ・音声案内の設置 ・暗い場所は照明を点ける
劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・高耐性素材の使用 ・製品の定期点検実施時期の本体表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品に負荷の掛からない使用法の教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、故障の点検 ・浴室用は固定具の水侵入防止のシールを必ず施す 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、故障の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、故障の点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化、故障の点検
廃棄(買い替え)	<ul style="list-style-type: none"> ・推奨使用年数の本体表示 ・製品の定期点検実施時期の本体表示 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが推奨する適合製品 (JIS, BL) の使用 ・定期点検で問題のあった製品の買い替えの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが推奨する適合製品 (JIS, BL) の使用 ・定期点検で問題のあった製品の買い替えの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが推奨する適合製品 (JIS, BL) の使用 ・定期点検で問題のあった製品の買い替えの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが推奨する適合製品 (JIS, BL) の使用 ・定期点検で問題のあった製品の買い替えの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーが推奨する適合製品 (JIS, BL) の使用 ・国交省ガイドライン遵守 ・定期点検で問題のあった製品の交換 ・リサイクルの推進と徹底
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・介助者に同伴してもらう ・頭、手足打撲防止保護具の装着 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動監視システム(事故の発見を早めて重傷化を防ぐ) ・同伴する 			<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーの推進

3ステップメソッド 赤字：STEP1（本質的安全設計による対策）、青字：STEP2（安全防護及び付加保護による対策）、緑字：STEP3（使用上の情報による対策）

※印 一部のものが実施済み